



すこやかに
とばっこげんきっこ

vol.235

暑い夏、外で遊ぶのに熱中していると、いつの間にか体内から水分がなくなっていくます。熱中症になる前にこまめに水分補給をし、暑さを感じたら適度に休憩を取りましょう。

おみらむい 絵



金子 かい 颯快 ちゃん

令和7年7月3日生まれ

お兄ちゃんだ〜い好き♪
甘えん坊のわんぱく次男坊

KIDS PHOTOGRAPH
やんちゃっこ
あまえっこ



藤村 なつ は 夏羽 ちゃん

令和7年7月12日生まれ

1歳お誕生日おめでとう♥
元気に育ってね!大好き♥



西本 はる せ 遥星 ちゃん

令和7年8月30日生まれ

毎日ここに笑顔の
はるせが大好きだよ〜♥

小竹篤市長の 変革のスイッチ

vol.14

しろんご祭り

7月第2土曜日前後の潮時のいい日に、菅島で「しろんご祭り」が行われます。鳥羽市の指定無形民俗文化財で「日本遺産海女に出逢えるまち 鳥羽・志摩」の構成文化財でもあります。

を覚える菅島では、地元の子どもたちが「ちびっこあま」として参加します。今年は、町外からも参加者を募り、総勢26人の「ちびっこ」が祭りを盛り上げました。

この「しろんご祭り」は、700年ほど前、菅島に漂着した白蛇を龍神の使いとして祀ったことが始まりといわれ、白鬚明神（しろんごさん）につがいのアワビを供え、大漁と海上安全を祈願します。

離島に限らず「祭り」や「風習」は、その存続に危機感を募らせています。「加茂五郷の火祭り」や「桃取の弓引き神事」など、すでに後継者不足で休止や廃止されてしまったものも散見されます。

祭日当日の早朝、島の漁船はすべて大漁旗を立てて、島の東北端の白浜に集まり、白鬚明神に参拝します。海女はほら貝の合図で、いつせいに海に入り、アワビを捕ります。最初

今後は、町外にも人材を求めて祭りを維持するのか、やむなく廃止していく方向なのか、それぞれの地域で苦汁の判断をしなくてはならないことが増える予想されます。

「海女がしら」の称号を与えられます。白鬚明神へ奉納するのは「奉納海女」の役割です。これは「まねきあわび」と呼ばれ、ほかのアワビを招き、豊漁が約束されるという慣わしです。

また、後継者不足に危機感



しろんご祭り

